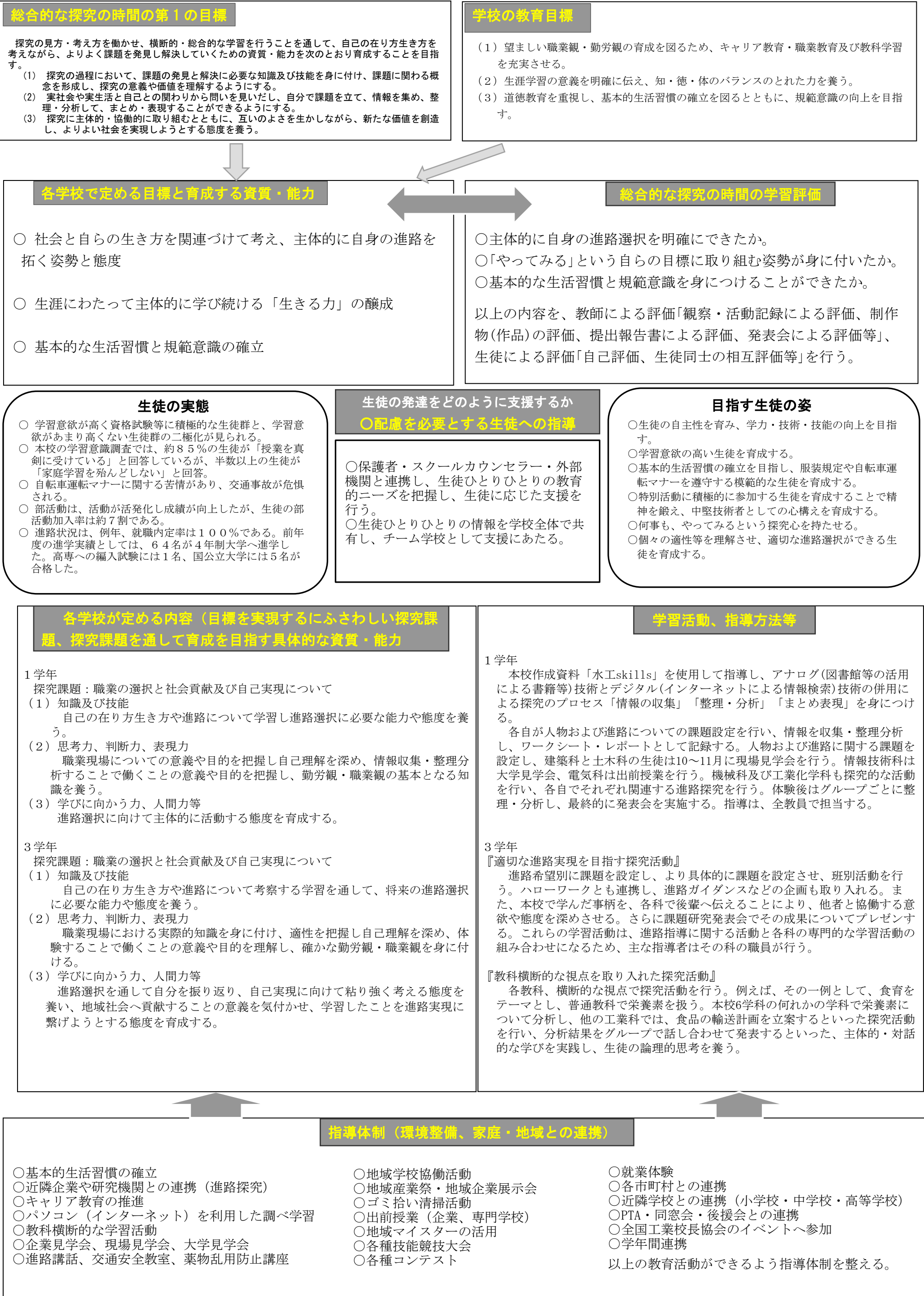




(20) 茨城県立水戸工業高等学校における探究的な学び（令和7年度実績）

1 総合的な探究の時間等における探究活動

①総合的な探究の時間

【取り組み】「進路探究」をテーマとして「水工skills」という独自テキストを活用しながら各科の専門に関わる「企業・学校」「職業・資格」「人物」から課題を設定する進路探究を行った。

【成果】生徒自身は早期から自己の進路について考え、まとめるきっかけとなり、これが3年生で実施する課題研究につながる取り組みになることを期待している。「水工skills」があることで探究のプロセスが明確になった。

②課題研究

【取り組み】各専門学科の学習内容からグループまたは個人で課題を設定して研究をおこなった。

【成果】「課題研究発表会」では「水工skills」の内容を元に発表資料の作成や発表の態度などに留意しながら活動することができた。



2 各教科における探究的な学び、教科横断的な学びの取組

①図書館の活用

「総合的な探究の時間」の中心的な活動の場となっている。図書視聴覚部、図書館司書が授業のサポートに入り「資料の探し方」や「参考文献の書き方」「探究活動の進め方」等をまとめた「水工skills」を活用して助言をおこなう機関となっている。

②公共（2年）×図書館×水戸市立博物館

①の活動をふまえ、市立博物館から戦争資料を借り、関連書籍を元に修学旅行事前学習を実施した。

③美術Ⅰ

①の活動をふまえ、アニメーションの授業時に「著作権」について学ぶ実践をおこなった。

